

第1回PTA部会 議事録

(1) 日 時：令和7年7月17日（木）午後7時より、（教育会館 第5研修室）

(2) 参加者：委員（11名）、事務局7名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 資料説明及び意見交換

- ・ スクールバスについて
- ・ ジオアリーナ周辺の動線について
- ・ 通学方法について

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

部会長 ・ 皆さんのお手元にあるレジメに従って、部会の方を進めてまいりたい。それでは冒頭で話させていただいたように、これまでの議論してきたスクールバスに関しての経緯を踏まえて、事務局の方より説明をお願いしたい。

資料説明及び意見交換》

（スクールバスについて）

事務局 ・ 昨年度末にこのPTA部会で決定した内容を中心に報告させていただく。参考資料1をご覧ください。右上に書いてあるように、令和7年の3月12日第3回PTA部会で決定させていただいた今現在のPTA部会の案になる。基本的な考えだが、生徒の安全安心が一番になる。それから保護者の送迎が多いということで負担をなくしたい。この基本的な考えで進めている。現在路線バスが運行されているがそれをスクールバスということで運用していく。朝1便で夕2便を運行する。利用対象者は、家からジオアリーナまでの距離が1.5km以遠の生徒がバスに乗ることになっている。近い子は歩きになる。このラインは、現在3中学校の自転車を認めている範囲が1.5km以上となっているので、近い子は歩くことになっている。停留所は現在のバス停をうまく利用したい。バスには混乗と言って一般の方、高校生も余剰があれば乗っていただけるように想定している。運賃は無料、これは全員無料を考えている。中学生が全地区から来るということで、1.5km以遠の生徒は一体何人になるのかということを調べた。現在の小学校5年生6年生、そして中学校1年生が対象になる。太字で中学生23人とか書いてある子が対象となる中学生になる。全部で12ルートを考えている。乗車時間を大体30分程度として街中の方も分けさせていただいたし、鹿谷方面は谷が二つあるということで、二方面考えさせていただいた。カッコ内の数字は、一番上の平泉寺方面で見ていただくと、対象となる高校生はアバウトだが、15人ぐらいだろう、つまり6割ぐらいが進学するとしてのアバウト数字で、さらにその次の括弧中18高5とあるが、これは何かというと、実はこれを決めるまでにアンケートを取っていて、実際の中学生高校生にアンケートを取った。あなたはこういうバスが用意されたら利用しますかと聞いたら、実際のところあまり数字はなかった。これで中学生は8割乗るかなとか、高校生が3割乗るかなとしたアンケート結果に基づいた数字を割り出したものになる。18人5人ならば、大体同じ人数が乗れるということになっている。そういうふうに割り出した表がこの表になる。次に参考資料2をご覧ください。実際にその12路線というのはどういうふうに走るかという路線図である。非常に

細かくて申し訳ないが、各方面から真ん中にあるジオアリーナをめがけてやってくる。12ルートとも一般の方も乗られるということで、まずジオアリーナ、福井勝山総合病院、サンプラザ、そして勝山駅前の4か所は通るようになっていく。中には、小学生も利用している路線もある。小学生は途中で降りてしまうので、ジオまでやってくることはない。そして帰りは逆の方に戻っていくということになる。例えば、荒土方面を見ていただきたい。新道から始まって紫色が続いているが、新道、戸倉、境ここは生徒いない。もしここに一般の方がいらっしゃれば、乗せることになる。色がついてるところは対象生徒がいるという地区になっている。そして順番に拾ってジオまでやってくるというパターンになっている。これが12路線になる。次に参考資料3をご覧ください。朝は1便で一番混むと思う。それで遠いところとか近いところがあるが、この野向線から始まると、ジオにつくのが、7時50分から8時10分までに、3台、3台、2台、2台、2台とこのように着く。大体生徒がいるところで乗っている時間が例えば野向線だと生徒は25分ぐらい乗っていればジオに着く、計算上はそうになっている。30分程度なので例えば鹿谷線の一番で行くと、33分かかっていることになる。それから市街地循環線1なんて5分でついてしまう。差があるが、一応この時間に大体つくような便を用意しているということになっている。帰りは2便ある。下り1便は誠に申し訳ないが中学校の時間に合わせて、6限目終了後、放課後部活動をしていない生徒が乗る便になる。大体16時40分から55分の間に3本ずつとんとんとと出る。次の2便目は部活動がある時間帯で、部活動が済んで待つて乗ることになる。これは18時30分からになっている。では高校生はどうするのか。高校生の部活は19時までやっている。乗れないことになる。去年の部会でも、高校生はどうするのか。乗せるのか乗せないのか。現在も19時代のバスはない。中学生に合わせたらものすごく待っていないかという話も出た。過激な意見だが、中学生中心に考えたらいいのではないかという意見もいただいている。申し訳ないが、ここが今揺れているところである。バスの運行業者の勤務時間があって法律が非常に変わって一人が長く勤務することはできない。行く前には点検して会社の車庫を出てから帰ってきて点検して終わる。長くなってしまうと、もう一人雇わなくてはならない。こういう人の問題とかお金の問題とかいろいろあって、協議を重ねている。参考資料4をご覧ください。実際に中学校や高校の先生方と話をさせていただいて、校時表を大体こんな感じで合わせたらどうかという案になる。中高生が何時にやってくるのかということだが、基本的にこれは勝高のチャイムにあっている。1限目の開始は、中学校は現在8時半で早い、8時40分で揃えている。中学生も8時20分までに入室する。そして朝の活動をやって、40分から授業。高校は朝読書をして待っていて、1校時開始となっている。朝の便はちょうど8時20分までに入るようになっている。8時10分に着くので、歩いて地下横断歩道を通って、20分までには入れるかなという目算になる。次は帰りだが、中学校は6校時が終わってから掃除、帰りの会、これが7校時の高校と合わせてある。そうすると16時30分までぐらいには終わる。中学校は帰りの1便としては16時40分。これは乗れるかなという感じになる。部活終了が中学校だと、17時40分までやって、50分完全下校となっているので、これに合わせるなら2便目はもっと早くするということになる。逆に高校に合わせると19時を回ってしまうので、ここは

	どうかということになる。だから、バスの帰り 1 便、2 便が検討中になっている。朝と帰りの間の日中はどうするのか、日中はこのスクールバスではなくて、フルデマンドバス、予約をするとバス停からバス停まで行くことができる。そのフルデマンドバスが動くようになっている。そちらの時間も決めなくてはいけない。例えば 9 時から 4 時まではフルデマンドバスにしたならそれを予約して、街中、行ったり来たりする。それは有料になるが市全体で今交通体系を考えているということになる。ただ、これも大詰めに来ていて、9 月までには決めないといけないということになっている。
部会長	・今のところ、令和 6 年の段階で大体決めてきた内容についての説明をさせていただいたが、おそらく今日初めてお聞きになられた方は、あまりにも情報量が多すぎて全て理解していただくことが難しいところもあるかなという感じを受けている。今の説明いただいた内容について分割して、いろいろご意見やご質問があったら伺いたいと思う。それでは今説明いただいた参考資料のまずは 1 番と 2 番。これがスクールバスの路線ということでの説明になっているが、これについては何度も何度も路線の組み替えを行ってきた。路線の数も 12 路線に最終的になっているが、当初はもう少し少ない路線だったりという形でやる中で、最終的にこの 12 路線という形になっている。加えて、この路線の決定に際しては南部中学校区、中部中学校区、北部中学校区の方々に分かれていただいて、実際に自分たちの地区のよくご存知の方々に、各中学校区での路線の流れがこれでいいのかどうかという議論も進めて決定させていただいた。まずはこの参考資料 1 番と 2 番のスクールバスの路線について、わからないところがあったら、どんなことでも結構なので聞いていただいて、次回からの会議の中で、説明不足もない形でご理解いただければと思う。いかがか。
委員 1	・確認なのだが、昨年度も参加しているのだが、自転車通学はどうだったのか。忘れてしまった。
事務局	・次に言う。一応 1.5km をこえる子については、全員がバスに乗れるという仕立てになっている。306 名いる。
委員 2	・その中でどうしても自転車で行きたいという場合はどうだったか。
部会長	・資料 1 で説明になる。とりあえずまず路線について何かご質問とか例えばここは通過しないのかとかあれば。
委員 3	・今日初めてなので、確認というか、乗車の時は無料ということで、何か証明するとか、そういったものはないのか。
事務局	・誰が乗っているかということで、まだ細かいところは決まっていない。どういうシステムをつけるのか、例えば、置き去り防止システムという最後誰も乗っていないか確認するようなシステムとか、あるいは GPS 機能が付いていて今どこを走っているかが親御さんに分かったりとか、どんな車両にするのかということがある。その時に例えばカードでピッとやればシステムにとんでいくとか、それはまだ最終で考えていかなくてはいけないと思う。
委員 4	・もう一つあって、中学生は無料と書かれているが、高校生も一般の方も無料ではないのか。
事務局	・全員無料になる。
委員 5	・昼だけ別ではなかったか。
事務局	・フルデマンドバスは自分で予約していくので、それは有料になる。
部会長	・先ほど話のあったフルデマンドバスとの関係で、もう少し、このスクールバスとの切り分けをお願いしたい。

事務局	・今先行的に荒土方面とか動いている。市内全部ではないが、フルデマンドバスというのが動いている。それは事前に予約をする。主に運行業者だがタクシー会社にも電話をして、例えば「荒土の新道にいますけど何時に来てほしいと、それでサンプラザの停留所まで行ってほしいんだ。」こういう電話をされると分かりましたということで受けて車が来る。タクシー代わりの小さいバスが来る。それに乗って、サンプラザに行って自分の用事をする。
委員 6	・この間個人的に仕事で使わせてもらったが、バス停からバス停になる。バスとして小回りで動く。予約したときに、混み合っていて希望の時間はかなえられなくて何時からなら大丈夫ですよと、混みあっている時はできなかった。安い、100 円から 200 円だった。
部会長 事務局	・勝山市の今後のフルデマンド化について、説明いただいた方がいい。 ・今は2台とかでやっていると思うが、これを増やす。4台とか5台とかに増やしてその需要を見ながら考えていく。業者の方で管理システムがあって、今おっしゃるように混んでいるとか分かるようになっている。だから「ちょっと待ってください。」とか「何時なら行けます。」ということで予約して行っている。タクシーだったら、ドアツードアになるが、これはお金が高くなる。
部会長	・おわかりいただいたか。スクールバス自体はオンデマンドではないので、決められた時間に決められたルートを回す。朝1便、夕方2便。この3便だけはスクールバスとして動く。それ以外は全部今言ったようなオンデマンド方式に今後、状況を見ながら勝山市内のバスがそういう方向になることを聞いている。とにかく今はスクールバスについてということになるので、この時間帯はいちいち呼び出すのではなくて、その時間にスクールバスが必ず来るという形で、生徒たちを学校まで送りとどける。また学校から帰り道を送るというような形になる。
委員 7	・行事の時はどうなるのか。これは通常の学校の朝行って帰り帰ってくるというシステムですけど、学校行事これは去年から少し議題に出ていたが、これについて、皆さん多分初めてなので、そこの運用はどうか。
事務局	・今事務局が考えているこのバスは、基本的には土日祝日は走らない。だから平日のみなので、今言われるように例えば土曜日とか日曜日に学校行事がある「保護者会が入ったよ。」とか「体育大会があるんだけど。」とか、そういうのは別で頼まないといけない。臨時便として同じように出してもらうようなことをお願いできないかと考えている。実際に今走っている路線も、土曜日とかに出してほしい時は事前に連絡して出してもらっている。事務局としては年間数日しかないんで、それをなんとかお頼みしたいと思っている。
委員 8	・私も初めてで聞きたいことがあって、スクールバス路線図の中で、滝波口ぐらいからは、ほとんどの路線のバスが通ることになっていると思うが、その辺に住まれている方はどのバスに乗ってもいいという考えでいいのか。
事務局	・一応定時定路線、つまりこのバス停では何時何分に通ります。いてもいなくても、飛ばしてどんどん行くということはない。だから、そこに人がいたらいわゆる滝波口に停まるバスは何本もあるので、どれに乗ってもらってもいい。
委員 9	・時刻表に見た時に、一番時間のかかるのは鹿谷線1が33分なのだが、例えばそれだけの量のバスが停まるのであれば、一番長いところ鹿谷1とかを素通りするとかという考えで、少しでも短い時間で着くようにするとどうかなと思ったことと、もう一点、下校完了時間が5時50分になっていてバスが

事務局	来る6時何分まで、生徒はどこで待っているのか。 ・確かに言われるように最終的な運用になると、この便は飛ばそうということが出るかもしれないが、一応今は路線としてみんな停まるようになっている。それは最終的にはバス事業者と話してということになると思われる。そしてこの時の案はこの時刻になっている。実は勝山中学校の校舎には、二階にメディアセンターという大きな図書館ができる。それから3階にも学習センター的なものができる。今この教育会館で勝高生は一生懸命自習室として勉強しているが、そういう勉強の部屋もある。主にだが、大体その図書館で勉強しながら、あるいは本を読みながら待っているということを想定している。でもこれは先ほどのいろいろなことでもしかすると時刻がぐっと上がるかもしれないということになる。
委員 10	・今下校時間のことが出たので気になっていたのが、中学校の下校完了が16時半と17時50分と出ているが16時半の下校の時は、バスに乗るまでが10分から25分で17時50分に下校の時は40分から55分ぐらいある。今言われた説明も納得できる。それといわゆる時間のかかる路線をできるだけ例えば30分から45分まで15分の差があるので、長い路線ほど先に30分からスタートした方がいいのかなと思った。例えば市街地循環線1は、9分しか走らないので、これは45分でもいいのではないかとか思った。それとこの資料1のバス停で停まる想定的人数で、一番少ないところだと北谷方面の9人、多いところだと北郷方面の42人になる。バスの大きさはみんな同じなのか。バスもいろいろ大きさがあると思う。バスは12台動かすので大型が12台もあるのか。
事務局	・時間のことなのでそれも専門のバス業者が見たら、これは変えた方がいいとか、いろいろ出てくるとは思うのでその辺は最終、どこの便を先にするのかは若干変更が出ると思われる。それからこの12台は同じバスかということだが基本的に3タイプをこちらで考えている。野向と北谷は人数が少ないのでこれはコンピューター的な13人乗りで行けるのかなと試算している。それから、猪野瀬とか市街地循環線とか30人以上のところは44人乗りの中型と言うがこれが5台、それから残りは4WDが必要ではないかということも出ていてこれが28人乗りぐらいのものを想定している。これは文部科学省で小中学生で遠いところから通ってくる子に対しては、バス車両を買った時に補助を出すということがある。その補助金もいただけるとありがたいし、その辺も考えている。
委員 11	・当然想定されていて、バスと就業時間の差があったが、事実上このタイムスケジュールは上げないと無理だと思う。今例えば嶺南の地域で、非常に校区の広い所が同じようにバスで運行している。例えば事実上2路線程度なのだが、一便目のバスと二便目のバスは路線の関係で40分程度差がある。結局どういう手を取っているかという、バス停に職員を派遣している。子どもが危ないとか行儀が悪いかリクエストが来て、結局バス停担当職員を毎日付けている。水曜日は管理職でやっている。そういうこともあるので、なるべくコンパクトに発便と終便を押さえているととてもいい案だと思う。帰りがもし仮に18時30分になるとその時間まで校舎内に子どもがいるとなると学校としては校舎の管理が無理になる。ということで、いろいろこれから擦り合わせが必要だと思う。
部会長	・今の意見を参考にして、時間をスライドさせる上では十分に検討材料として詰めていきたいと思う。他はいかがか。とりあえずスクールバスの路線とい

	うところでの内容についての質問だが、この件についてどんなことでも結構だが、心配なこととか何かあったら聞かせていただければと思う。基本的にバス 12 台については新規購入ということで、そういった意味で予算的な部分もあって少し早めに決めないといけないというところもあると聞いている。よろしいか。進めていく中でまた疑問が出てきたらその時に戻って質問いただければよろしいかと思う。次に参考資料 3 の時刻の件で、これについては先ほどの参考資料 4 の校時表についてと合わせて何か心配な点とか、確認しておきたい点があったらお願いしたいと思う。
委員 12	・最初に説明があって、例えば高校生との絡みで下りの 2 便になる。この 2 便の方を、例えばもう 1 台増やそうと思うと、人件費か何か運転手の労働時間の関係で少し厳しいかもということで、これは確定でいいのか。まだ検討中ということか。
事務局	・検討中だがかなり厳しい。事業者も人を雇うということは、これから先 5 年 10 年先を見ることになる。どんどん生徒が減ってくる。
委員 13	・ 3 便目を作るのは 1 便、2 便があるが、少し厳しいということか。
事務局	・ もう一つ厳しい。もっとたくさん人がいる。
委員 14	・ 運転手がどうしても勤務時間に縛られる。2 便目のさらに遅くというのはなかなか難しい。高校生の部活はさらにその後までやっている。勝山中学校のことだから、高校生の方はもう別にそこまで視野に入れなくてもいいだろうということでもいいのか。
事務局	・そこはどこかで決めないといけないが、皆さんがぜひ高校生にも出してほしいということになれば、本当に 3 便目になってしまう。すると非常に厳しくなってしまう。
部会長	・実は当初はやはり中学生だけを対象にということで考えていた。ただし勝中から勝高に上がる子も出てくるだろう、そうすると中学時代にバスに乗っていた子が高校に入って使う子たちも出る可能性もあるかなというところから高校生も乗れるような環境も必要ではないかというようなところから出てきた話で、当初は今現行でもほとんど勝山高校生は親御さんが迎えに来るか、バスがないという状況の中にある。おそらく今後の議論としてもこの第 2 便については、高校生を外すかどうかということになってくるのかなという感じを受けている。中学生を対象にすると、2 便のスタート時間を早めるという形で、できるだけ中学生を学校に滞留させずに早く自宅の方に帰すという方向性の方が進んでいくのかなという感じはする。そのところは今後、皆さんのいろいろなご意見をいただきながら決めていく。さらに業者が絡んでくるので、バスの運転手の就業時間的なところもあって非常にぎりぎりのラインで切られているようなところもある。最終的な 2 便目のスタート時刻を決定する必要があるという感じを受けている。今日ここで決まるわけではないので、皆さんからこういう案はどうかということがあったら、ぜひ出していただければと思う。他にはどうか。今中学校と勝高の校時表は、現在の校時表だったのか、高校の方を変えたのか。
事務局	・この件に関しては、中高連携推進協議会という先生方の集まりがあって、その中で、基本的には高校の現在の校時表に中学校が新しく行くので、それを揃えるという形でいいのではないかという議論をいただいた。現在の中学校の校時表はもう少し前に上がって、始業が 8 時までに入るというような形になっている。
部会長	・今の話も含めて、この時刻に関して何か質問があったら伺いたい。

委員 15	・先ほどの参考資料 1、2 の話になってしまうかもしれないが、バスの大きさのことを言われたと思う。この中学生の人数に対しての場所の大きさだと、一般の方や高校生が残った時に中学生が乗れないのではないかとという可能性が出てくるのではないかと思う。そこも加味しながらバスの大きさを考えていただけたらと思う。
事務局	・実績としては今走っているので、大体今の実数は把握している。実際はあまり一般の方が乗らない。高校生もアンケートを取ったところあまりなので参考資料 1 のカッコの中がパーセント的に乗ったとすると、そんな人数になる。でも中学生はマックス希望したら乗れないと駄目だろうということで、それにプラスアルファの大体の大きさを考えている。
委員 16	・下りの 2 便の議論が途中まで聞いている。確かに中学生が第 2 便に乗って帰って、例えば地域移行で夜部活ではないが、19 時スタートとか、帰ってすぐに行けるわけでもない。睡眠時間とか、勉強の時間を確保しようとする、もう少し早くした方がいいと考えた時に、今の規定路線とかも加味して使っていくと、例えば前倒すのならこの 18 時半が 1 つの案は 18 時 20 分、2 案、3 案あると選べられる。正直 5 分刻みとか自由な時間だと多分わけがわからないと思うので、基本的な規定路線を使っていくべきだと思うからそうすると結構絞られるのではないかなと思った。もし入れるのであれば、もう具体的にこれとこれなんだけどというふうに進めた方が議論は早いかなと思う。確かに 18 時半から早めたいが、どれだけ早めた方がいいかというイメージがなかなかつかないので、今後の検討委員会で議論できるといいかなと思う。
事務局	・言われるように何便も出すわけにはいかないし、同じように早めたら、これというのを出した方がいいかなとは思う。
部会長	・今の参考資料 4 のところまでは一応最終的に出てきた内容になる。まずはここまでのところを十分ご理解いただいた上で次の議論の方に入っていきたい。後ほど質疑の時間を取りたいと思うので、それまでにいろいろ質問が出たら、その時に伺えればと思う。それでは続いて、ジオアリーナ周辺の動線になる。バスの動きだったりとか、送り迎え用の車の動きだったり、自転車の動きだったりという動線についての説明を、事務局の方でお願いしたい。 (ジオアリーナ周辺の動線について)
事務局	・資料 1 をご覧いただきたい。ジオアリーナの周りが特に朝、ものすごい動きになっている。ここにバスもやってくる、場合によっては送迎の車もやってくる、自転車もやってくるということになる。そこで動線をしっかりしておかないと安全が確保できないということで、これはシミュレーションした図になる。まず、色でいうと青だが、反時計回りにバスが入ってくる。ジオアリーナを反時計回りに回って①、②ここに大体止まる。これはなぜかという、ここに地下横断歩道の出入り口があるからになる。ここで、頭さえ突っ込めば前の方から降りていく。そして、地下横断歩道を通ってこっちにある校舎へ行くことになっている。③は実はもうここに今のジオアリーナのバス停がある。一般の方がここで待っていると止まらなくてはいけない。多分の①、②を追い越して③に行くことはないと思うが、③に止まることもある。バスはそのまま反転して出て行く。そして送迎の車はバスを準備したので極力控えていただきたいのだが、来る場合を考えた。現状の勝山高校に入ると、非常に危なくなる。人数も徒歩の子も増えているし危ないので、車でもし来るなら、ジオの方へ来ていただきたいという事務局の考えになる。人と車を

	分けたいということで、車は赤のラインになっている。送迎の車はトンネルの方からと大野の方からやってくる。右折左折とあって、入ってくると右側にある一般車両の駐車場に止まっていた。そこで子どもを降ろしたら、一方通行で出て行ってほしい。入ってきた道を帰りたいのではないと思われるが、事務局としてはこの案になる。そして徒歩になる。降りた生徒は紫色になるが、一番上の方で道路を渡る。そしてジオアリーナの淵にそのような形で地下横断歩道の入り口まで歩いてくるということになる。最後に自転車だが自転車はもし乗ってくるのなら、南部方面からと中部方面からとあるが、ジオの駐輪場が一番上にある。この道路の左側しか通らないような設定にしている。ずっと上がって行って、駐輪場で止めて同じように歩いて地下横断歩道に入る。逆にここで乗って降りてきて別れるということになっている。
部会長	・今の説明でおわかりいただいたか。バスは薄いブルーの線、反時計回りなの動線になるし、赤色が送迎の車、グリーンが自転車で、歩きが紫ということで理解いただきたい。補足しておくが、車の場合一方通行で入った場合には、向こう側に降りた時は左側しか出られない。一方通行でずっと行った時に右折はできないので、北中の方が来た場合には、一旦左へ曲がって、次の西校に入っていく大きい信号のところでUターンしていく、曲がっていただいて、ぐるっと戻って行っていただくという形になる。事務局は送迎車があまり来ないでほしいという思いもあってこういう形の提案かなという思いもある。今のこの動線について何か質問があったらお願いしたい。
委員 1	・ジオアリーナは使うのだが、こうなった時に徒歩で渡る道がある。そこに横断歩道をつけられるのか。わたって右左を見ているが、明らかにバスだったり、自転車、車が通るので、横断歩道をつけるべきかと思う
委員 2	・自転車の停める場所は、このスペースで足りていたのか。課題にも挙がっていたかと思う。
部会長	・それについては、この後、実際の自転車通学の可能な数とかが出てくるので、多分それでまた議論になろうかと思うので、そちらの方へふらせていただいてよろしいか。
委員 3	・車で来て、今度西校の方のところをかってUターンをするのは、結構直線で車が飛ばしてくるので、変電所の場所でUターンするというのが、なかなか車が多くなると危ない。今はUターンしていく車もあまりないが、それも想定として懸念している。
部会長	・結局、車を帰す時に入ってきたところにもう1回帰すという方法もある。そこが果たして渋滞を引き起こさないかというようなところが非常に懸念されるところで、今の事務局案でいくと苦肉の策みたいなのところがあるかなという気もする。これについても議論をしていかないといけないかと思う。この流れについてはどう思われるか。
委員 4	・一番いいと思う。だって横断歩道をつけて戻ってこられて、事故でもおこしたら大変だし、Uターンも道路交通法に触れなければよくてそれはドライバーが気をつけるべきなので社会人として当然。議論の余地はないと思う。
部会長	・あとはその変電所のところで、朝の時間帯、Uターンは危険になる。一旦右折してもらって上がってもらうというような形を取っていただかざるをえないのかという感じがする。あまり向こうへ行くと小学校の校区になってくる。西校の子ども達の歩く時間になる。
委員 5	・ずれている。7時半から8時ごろになる。見守り隊も立つ。

委員 6	・ドライバーに任せるということとは言える。どちらかという、Uターンしていいかどうかは、ドライバーの判断だと思うが、なるべく安全に通っていただけるようなことだけは必要かなと思う。
部会長	・これ一方通行にした場合に、それをみんなルールとして守ってもらうというところ。一人でも一方通行に行かずに、来たところに折り返していくと、あの車が行っているのとなる可能性もある。その辺のところをどういうふうにしちゃんと規制をかけられるかという気はする。
事務局	・横断歩道をつけるべきだという意見があった。ここは確かに横断歩道はない。市で検討しないといけない。簡単に横断歩道は今はずけられない。
部会長	・今はどこの道路なのか。市道か。
委員 7	・小学校と違ってスクールゾーンではない。
事務局	・場合によっては、逆走してくることも含めれば、もしかするとここに誰か一人ついてもらわないといけないようになるかもしれない。歩く子、自転車で行く子、車となった場合には、ここに一応看板的なものは立てられるとは思いますが、人がつかなくてはいけないようになるかもしれない。それは検討させてほしい。
委員 8	・人がつくのだったらなおさら法的拘束力のある横断歩道をつければいい。
委員 9	・小学校の見守り隊の人は横断歩道のところに立ってやってくるが、中学校の子は思っていない。
部会長	・他に何かどうぞ。
委員 10	・当然、想定されていると思うが、中部中、北部中から来る子は全員トンネルを通ることになる。栄町の子は学校を追い越して駐輪場に行くので、勝高側にも駐輪場が本当はあるといい。自分は沢町に住んでいて、よく長山の辺りを通るが芳野病院の周辺とかで車から降ろしてもらっている子とか、そこで車に乗って帰る子もいる。
部会長	・駐輪場の話はこの後説明がある。後ほど議論をお願いしたい。
委員 11	・この体育館の建設に携わっていたので話の出来ることがある。こちらが市道で歩道のある側、真ん中に線が2本引いてある。横断指導線というもので横断歩道の代わりになるものになる。横断歩道は引けないがこちらの方を通っていただくというのが前提となっていてつけている線になる。この2本の線は横断指導線と言われる線になっている。歩く人がこちらを通っていただくという前提で引いているものもあるし、車の入りがこちらより先になるので、通行上ここを通過してもらえれば、特段横断歩道まではいらんではないかというところがある。子どももこの紫のラインを歩くというよりはその上のところを歩くことになる。車との接触はない。時間が経っているので薄くなったりしていると思う。
委員 12	・正直、そこを歩いているのはなかなか見ない。
委員 13	・イベントで向こうを通ってくださいということはあった。
委員 14	・先ほどバスに乗る人が正直少ないというアンケートがあった中で、事務局側としては自動車はあまり使ってほしくなくて、こういうふうな動線を考えているという、少し矛盾があるのではないかな。バスを使いたいならバスを大型にして融通がきくようにするのも一つの方法ではないか。当然北郷地区は反対側に出ていかないといけないとなると、勝高側の正面の入り口に入ってはいけないということではないのか。送迎の場合、絶対にこの地下横断歩道から子どもを入れさせないといけないということか。
事務局	・先ほども言ったが、とにかく勝山高校周辺が非常に混雑するので、今でも混

	雑しているが、事務局の案としては車はこちら。ただ、緊急の場合とか、例えば足の骨を折って松葉杖なのに、ここから歩いていくのかとなるので、そういうケースバイケースになるが、基本的には送迎の車はジオアリーナと考えている。本当は送迎の車はないという想定で、みんなバスに乗ってねということになっている。
部会長	・前も少し話をしたが、基本的に送迎の車をできるだけ減らす。当初からの基本的な方針であった。今も勝山高校周辺の方々から結構クレームがあがってきて、できるだけあそこの車の乗降はしないほうがいい。今はどこか近くで降ろすようになっているのか。
委員 15	・今は電話ボックスのあたりまでとなっている。
部会長	・帰りは中まで入ってくる。
委員 16	・そこも一方通行になっている。子どももそこまでしか行ってはいけないとよく言われている。
部会長	・歩いてくる子ども達や自転車とかも多いので、あそこに車が出入りしてくると危険だ。朝はそこで降ろすからいいが、夕方は車が門まで入ってくるので、そうすると自転車や歩いて帰る生徒たちの危険性を考えた時に、できるだけ車の利用はさけたほうがいい。昔から言われていた話なので、できるだけ送迎車は減らしてほしい。バスにしても車が来なければいいが、南中側から来た時の右折、これは市内に入ってくる車も結構ある。そうすると右折車が渋滞する。あこに右矢印の信号機をつけられないか。
事務局	・それは非常に難しく、ここに信号がついたことも貴重らしい。距離的に次の信号までの間が短い。右折矢印信号をつけると交通全体に影響するので、簡単にはいかない話になる。右折をつけるということはどんどん車で来てくださいみたいな感じにもなってしまう。そこは要検討かなと思う。
部会長	・これは二車線が三車線になるのか。これもし出てきた時に福井に通勤する車は不便になるのではないかな。
委員 17	・あそこは出勤ですごく朝混む。7時半から8時半ぐらいはものすごく混む。福井勝山総合病院に行く車もあって、特に右側を走る車が増えてくる。バスもそこに入るとなった時に右に矢印がないとすごく危険なのかな。下手に込みすぎて少し怖いかなと今聞いていて思った。まだ2年という期間があるのであれば、検討してもらった方がいいのではないかなと思った。
委員 18	・警察がつけることになると思うが、警察の方が詳しいとは思いますが、今警察自体が横断歩道であったり、信号をなくそうとしている。使っていないものとか、ここに信号をつけてくれといってもほぼつかない。本当にここになぜ信号がついたのかなというぐらい。右折については、例えば2年の間に検討してつけられるかという、ほぼ無理だと思う。ただ、話を教育委員会がしたとしても様子を見ましようと言われる。本当にそうなのかどうか。今ここでつける、つけないを決めても、実際にこうなっていますと言わないとつけないと思う。警察ではないが、今までの仕事の経験では、信号の話をして空振りになってしまう。先ほどの横断歩道のこともだが、近いことがあってなかなかそもそもつけるのを嫌がる。
部会長	・勝山病院のところは、トンネルの中まで渋滞していて、トンネルを出て右折に入ってくる。たぶん全体的な流れを考えたらかなり渋滞する。そういったことも含め、今後十分検討していきたい。では、少し脱線したが、ジオアリーナを取り巻く動線について説明いただいた。これについて他に何かあるか。

委員 19	・重ねてになるが、歩いてくる子とか、自転車で来る子に苦勞をかけるのはいかがなものかなと思う。自分の脚で来ている子達なので、歩いてくる子は、普通通りそれぞれの近い入り口から入って来れる。自転車の子がやはり自分が住んでるところから近い入り口から学校に入れるような形にしてあげられるといいのではないかな。それは強く思う。わざわざジオアリーナまで行ってまた歩いてというのは若いからいいのだが。
部会長	・自転車の方に話がいきはじめているので。それでは実際にスクールバスおよび自転車通学の距離等について説明をお願いします。
	(通学方法について)
事務局	・資料2をご覧ください。一番左が全校生徒数で現在の小5、小6、中1の人数を地区ごとに入れると、455名が新中学校に来ることになる。事務局の案を言うが、1.5km未満の生徒は149名いるが、徒歩で来てほしい。それ以外の生徒は引き算をすると306名になる。この306名は全員バスに乗れるように用意をしてある。つまり、自転車に乗らなくてもいいし送迎しなくてもいいことになる。右の方へいくと、どんどん遠くなって、3kmから6kmまでの生徒が120名、6kmを超える生徒は41名になる。事務局案ではバスに乗ってほしい。なぜかという文科省の補助対象になる。3kmを超える子は遠い。だから、補助対象に認められている。そこでバスに乗ってほしいということになる。残りのところ、1.5kmから3kmまでは文科省の補助がないが全部足すと145人になる。バスに乗ることはできるので、原則はバスに乗ってほしいというのが事務局の案。しかし自転車に乗りたいという生徒が出ると思われる。そこは駐輪場のキャパとか、先ほど上と下ということもあったが、ジオアリーナの駐輪場をマックスで停められたら65台ぐらい停められる。40mあるが、一般の人も停めるかもしれない。高校生が部活で来て停めるかもしれない。それから勝高にお願いをして、自転車小屋が勝高に三棟あるが、どれぐらい貸していただけるかと聞いたら、1棟の半分、35台ぐらいになる。合計で100台、全員乗ってくると入らない。原則はバスにしてほしい。でも希望でという人は少し止めることはできるということになる。3kmを超えているところでも、体力で鍛えるために乗ってくるんだという親の特別な申請があったら認めるかもしれないが、今のところの線引きとしては「1.5kmまでは歩いてください。3kmを超える人はバスで来てください。その間の生徒さんは原則はバスですが、自転車がどうしてもという人は申請をしてください。」これが事務局になる。
部会長	・この表のa、b、cとは何か。
事務局	・これは単純に分けただけでbのところは全部入りきらなかったの、bとcに分けただけでbとcは同じになる。両方とも2kmから3km以内の地区になる。だから1.5kmから2kmは縦だけ見れば75人いる。2kmから3kmは実はこの21と49を足して70人いる。分けた意味は、ここに書ききれなかっただけで、つまり猪野瀬と言ったら毛屋とか猪野とかあってここに書ききれなかったの、分けただけだ。b'みたいなものになる。
部会長	・勝高側の駐輪場に停めるのはbという意味ではないのか。
事務局	・そういう意味ではない。
部会長	・今の説明でいくと、基本的にはバス通学ということで、自転車通学はできるだけ控えてくださいねというお願いになるかと思う。そういう中で自転車の通学可能生徒が149名もいるということで、もし全員が自転車で来たら、ジオアリーナがマックス停めたとしても65台ということでキャパ的には入ら

	ない。今後、その辺を検討していかないといけないが、何か意見とか質問があれば、お願いしたい。
委員 1	・ 去年から言っている話になる。駐輪場のジオアリーナのところだが、喫煙所がある。65 台停められるが横に喫煙所があるということになる。私はタバコを吸わないので、喫煙所がなくなっても一向に構わない。学校も含めて、喫煙所はなかなかもう置けない。校内はダメなはずだ。これ学校内なのか、言い方が非常に難しいが、生徒が停める駐輪場の真横にあるというのは、正直いかがなものかと去年言っている。勝高側にも 30 台ぐらい停めたとしても、台数的にはジオアリーナが多い。ジオアリーナが優先だとなると、正直リスクかと思う。例えば喫煙所を取っ払っちゃったらいいかは何とも言えない。ここの駐輪場はやめて勝高のところに作れないのかとか、喫煙所が近くにあるというのはあまり容認できない。法律が細かくは分からないが、特定屋外喫煙場所の設置が学校内に認められてるとかなんとかある。通常立ち入らない場所に設置するとか、いや、思いきり生徒が立ち入っているのも、そうすると突っ込みどころがある駐輪場になってしまうのかと思うので、そこら辺りも検討していただきたい。
部会長 事務局	・ 去年から出てきたことだが、検討はどうなっているのか。 ・ 実際にジオアリーナの 365 日でどれぐらい平日に一般の方が使っているのかというのを見た。平日はほとんどない。だから生徒が来る 8 時は、ほとんどいない。平日で大会はなかなかない。一般の方が 8 時から利用するというのは土日とかになる。したがって平日の月から金では、あまりそこへ来て吸っているとかということはないのかなと思った。一般の人は大体夜の利用が多い。一部日中も使うこともあるが、例えば、卓球のチームが 12 面あるコートの中の 1 面を使っているとか、サッカーがどこかの 2 面を使っているとかそういう状況になる。
部会長	・ 吸ってる、吸ってないではなくて、環境的に喫煙所自体が近くにあること自体に問題視されているという話だろうと思う。この喫煙所は青空というか仕切りも何もないのか。
委員 2	・ 囲いはある。環境になる。吸ってる吸ってないのデータ取りでは、すまされないのではないか、どうしても重い。
部会長	・ 市の所有か。
委員 3	・ 勝山中学校ができるとなると、中学生が出入りする頻度は当然高くなって、環境的には喫煙所がどこか別の所にあるのが望ましいという思いもある。
委員 4	・ 改修工事のお金を使えないのか。
事務局	・ 環境ということで検討することになる。
部会長	・ 確かに喫煙所もない。よろしいか。回答は今の段階ではできない。他にはないか。自転車に限らず、このスクールバスの利用人数予測表について何か聞きたいこと、これはどうなっているのかというところ、気になるところがあったらお願いしたい。
委員 5	・ 通学方法でバスの対象となる中学生の人数が 306 人であって、徒歩が 149 人となっている。1.5km ですみ分けをしているが、例えば徒歩の対象になっている生徒でも、1.4km あったらバスに乗りたいたいとかあるのではないかな。まあ、その辺、人数が増えた時に、今 12 台配置するバスで足りるのか、乗れるのかと思った。基本バスなのだが、自転車で来れる子、1.5km 以上は自転車で来れるけど、1.4km ぐらい、例えば 3 軒先の子は自転車で行けるのに、僕は歩いて行かないといけないとか、その辺になるとどうなのか。

事務局	1. 4km いいよ、1. 3km いいよとやっていると乗れない。一応の線引きはさせていただきたい。そうしないと、何でもいいようになってしまう。現在中学校も自転車に乗ってきていい範囲を決めている。向かいと同じ距離ぐらいなのにあっちはまるでこっちはバツだ。そういうことも起こるかもしれない。昔だともっと厳しかった。自転車は2km でしか許可が出なかった。それはキャパの関係になる。今北部中は誰でも乗ってきてもいいぐらいのキャパになっている。
委員 6	乗れないということになるのか。
事務局	原則乗れない。
部会長	そういう形で今も区切っているということか。
委員 7	自転車小屋のキャパを考えて、向かいの家はダメというのはあまりにも厳しいので、自転車小屋に入るようだったら認めている。少し融通をきかせるところはあがるが、基本的には距離になっている。
部会長	距離というのは、子ども達から学校までの距離は何キロあるとか申請しているのか。
委員 8	入学の時に予め地図でこの範囲より外しか駄目ですよというご案内を入学説明会でしている。
部会長	直線距離ということか。
委員 9	円を描いてやっている。
部会長	今回も同じような形で1. 5km 未満という形で、あまりいうことを聞くと収集つかなくなることになるのだろう。そういうことで決めていただければと思う。
事務局	この自転車の通学範囲とか、必ずバスに乗ってくださいとかというのは、最終的にはここで皆さんのご意見をお聞きしながら、今度学校の先生が、校則というか学校のルールとして決めることになってくると思う。その時に今ほどの意見があった。去年も実は終わりにはこの3km 以遠は絶対にバスに乗ってもらわないと、こちらとしては危険だから、乗ってもらうようにしたいとご提案したが、親御さん目線ではそれは親の責任でいいのではないかという意見を出された方もいた。それは意見としてその会に伝えるので、今ほどのもう少し近いところでも乗せてあげればいいのではないかと、親としては思うという意見もあったということは伝えることができると思う。ここでガチガチに決めてしまうというわけではなくて、並行して、今度、教員で学校のルールを決めていく会にも、今のような意見は伝えたいと思っているので、並行しながら協議をさせていただきたい。
部会長	当初予定していない生徒のバスのキャパの問題であつたりとか、逆にそちらの方が増える可能性もないとも言えない。そういったことも考えていく必要がある。これで一応今日の議題は終了となる。ここまで通して何か質問とか意見があればお願いしたい。一言あればどうぞ。
委員 10	中学の子が部活をして帰ってくると疲れてまだ慣れていないのもあって、勉強する時間が本当に取れない。部活はすることが決まっているので、帰りの時間は距離があることもあるが、もう少しでも早くなるとありがたい。
部会長	他に言い残したことはないか。今日は第1回目ということで、これまでの振り返りを含めての皆さんとの意識合わせということで、議論させていただいた。本当にいろいろ意見をいただきありがとうございました。これからこういったものを進めながら第2回目から3回目の部会の中でいろいろ議論して何とか上半期、第3クォーターぐらいで決められるように頑張っていく

いと思うのでよろしくお願いいたします。それでは時間の方も1時間半から5分過ぎたが終わりたい。

(その他)

- 事務局
- ・その他で少しお願いしたい。実は去年はこの会とは別に3中学校のPTA会長さんに集まっていたいて、勝山中学校のPTA組織について考えていただいていた。概略だけ決めていただいて、今年の入学生は令和9年度の委員さんの数としてはこれだけと決めていただいている。今年度はさらに踏み込んで、新中学校の規約の少しでもできればいいかなという話を3人の方に差し上げる。そしてまたこの部会で報告させていただくことになっている。令和8年度には今のPTAの予算関係も組織関係も終了するので、だんだん迫ってきている。同様に同窓会も8年度で終わるが、これも別途同窓会長さん3名で集まっていたいて決めていただいたことをここで報告させていただく。
- 部会長
- ・PTAの会費の残金の後処理だとか、全部決まったのか。
- 事務局
- ・決定ではない。案としてはある。
- 事務局
- 本日もいろいろ貴重な意見をいただき、ありがとうございました。スクールバスについては今後、運行事業者や運輸支局などの関係機関とさらに協議を進めていきたいと思う。本日はありがとうございました。以上で、PTA部会を終了させていただく。

資料1：スクールバス停車位置イメージ+徒歩+送迎車+自転車の動線（案）

資料2：スクールバス利用人数予測（案）スクールバスについて（案）